

秋葉山の蝶 ⑪



＜オス(♂)＞



メス(♀)▷

コツバメ

【シジミチョウ科】

学名 Ahibergia ferrea Butler

コツバメは、一世代一年間の寿命のうち10か月余りを蛹で過ごし、4月になると陽春を待ちわびたかのように飛び出してくる藍色の小さな春の使いです。

蝶は、その一世代のうちに卵→幼虫→蛹→成虫(蝶)と完全変態をしますが、その一世代の寿命、各変態ごとの期間は種類によって異なります。コツバメの一世代一年間という寿命は、長い方といえます。

飛び方は、アブのように非常にすばしく、飛んでいるときは黒っぽく見えます。枝や葉に翅を閉じてとまりますが、鉄色の縞模様翅の裏を太陽に直角になるように倒し、少しでも多く陽光を吸収しようとするかのような行動をとります。見つければ注意して観察してみてください。

(佐藤良幸 本町4)

リレー随想



(212)

「イヤサー 秋葉山から吹きおろす風は新津繁盛と吹きおろす」とは、どなたもご存じの新津松坂の一節です。もう二十年も前のことです。私が七日町にあった園芸試験場に勤めていたころ、新進気鋭の技師さんが着任しました。新鴻の青山から毎日バイクで通う気のない方でした。試験場には、ビニールハウスが多いのです。風もない静かな夕方、窓を開けたまま帰ると

どうみてもこの風は、「新津貧乏」と吹きおろしているようです。度重なる新津の大火も、この「だしの風」の日に起こっているようです。稲の白穂など、農作物にもどれだけ被害を及ぼしているか計り

夜中から吹き出した「だしの風」で、キャウリの葉がチリチリになってしまっています。「青山では全然吹いていないのに、新津の貧乏風め」と、彼はよく腹を立てていました。「だしの風」が吹き始めるのは、午後の八時から十時の間ごろです。私も夕食後、ビニールハウスの窓開めだけで、よく園芸試験場で再出動したものです。

知れないものがあります。この阿賀野川下流域の局地風、「だしの風」は天然現象ですから致し方ないにしても、新津市はとうもろ長い間「貧乏風」が吹き過ぎたようです。何となく活気のない商店街、ただ新潟へ通うだけで、新津をネグラーと心得ているサラリーマン、大都市周辺の衛星都市は皆こんなものだというあきらめムンドが、広がっているようです。

このような中で、「花とみどり」と石油の里の、キャッチフレーズによる「石油の世界館」の開館は、市民に大きな希望を与えました。もう一つ忘れていませんか、それは鉄道です。輝かしい鉄道の歴史を背景に、鉄道博物館の建設などを基盤として、何となく新津市の活性化を図りたいと、今我々の仲間には願望になっています。そして、今年こそ本

石油の世界館では、中国拓本展を開催しています。墓室壁画像や造像記など、漢や唐代の思想や文化を知る貴重なものばかりです。広報でお知らせします。

石油の里情報



ぜひ、ご鑑賞ください。
□開催期間：2月28日(水)まで
なお、石油の世界館と観光物産館は、(月四日木)から開館します。
※点検作業を行うため、石油の世界館は、一月下旬に二日間ほど休みます。くわしいことは、一月十五日号広報でお知らせします。



▲孫秋生等 造像題記

当の新津繁盛風が吹きおろすように期待しながら。

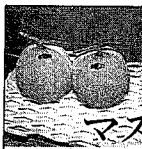
このバトンを金沢町4の中静候さんリレーします。

16 映写機操作講習会

視聴覚センターでは、16時映写機操作技術認定講習会を次のように開きます。ぜひご参加ください。

□とき：1月28日(日)の午前9時～午後4時
□ところ：視聴覚センター第1演習室(3階)
□対象：一般市民(18歳以上)
□内容：映写機の構造などの講義、映写機の操作実習
□定員：28名(定員になりしだい、締め切ります)
□費用：テキスト代400円(希望者のみ)
□申込み：一月二十六日(金)までに視聴覚センター(電話210201)へ直接電話でお申し込みください。

お買物、ご用命は市内で



あけましておめでとうございます
エメラルド色の気品が香ります。

静岡温室

マスク・メロン



フレッシュで
おいしい果物の店

やまいし

新津市本町3
TEL 23-0397

襖、壁、障子、天井、カーテン
ブラインド、カーペット、クッションフロア
美術表装、額、掛軸

表具一心堂

本町3 22-2035